

なきかいを使う農家がおおくなり、今までの田では、仕事しごとがやりにくくなってきました。そこで、小さな田をひとまとめにして大きな長方形の田にとのえて、きかいでのしごとがしやすいように工事が進められてきました。また、道路にそって、用水路も作られました。山ぞい、山あい土地では、そのつくりかえのしごとが今もすすめられています。

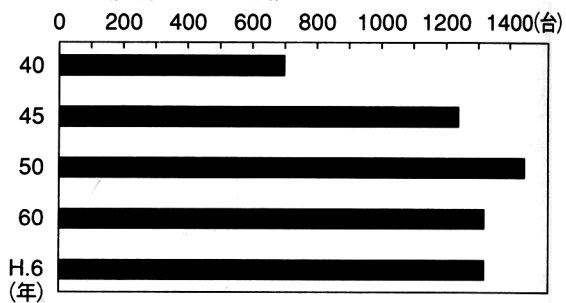


(整備前の田)

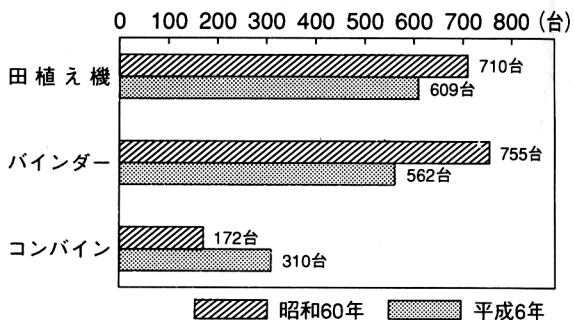


(整備後の田)

農業きかいのふえかた  
(動力こううん機)



(その他の農業きかい)



昭和60年 平成6年

役場調